



岩手・宮城内陸地震災害速報！

1. 地震の概要

東北地方整備局資料(1～3及び災害写真)

【発生日時】 6月14日8時43分

【場 所】 北緯39度01.7分 東経140度52.8分
(岩手県内陸南部の深さ8km)

【規 模】 M7.2(暫定値)

【震 度】 6強(岩手県奥州市、宮城県栗原市)

6弱(宮城県大崎市)

5強(岩手県北上市、一関市、宮城県仙台市

名取市、登米市、秋田県湯沢市)

【発震機構】 西北西－東南東に圧力軸を持つ逆断層型

2. 被害状況

①【国管理河川被害】

都道府県	水系	河川	市町村	被害状況	
				状態	数量
宮城県	鳴瀬川	鳴瀬川	大崎市	堤防天端舗装・クラック (3箇所)	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	樋門・目地開口、クラック	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	樋門・目地開口	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	樋門・目地開口	
岩手県	北上川	砂鉄川	一関市	樋門・目地開口	

②【直轄ダム施設被害】

ダム名	被害箇所	被害状況
石淵ダム	堤体	天端にうねり及びクラック発生
	下流右岸	土砂崩れ発生
	管理設備	光ファイバーの切断
商用電力切断		
胆沢ダム	国道397号	土砂崩れ発生により通行止め
	下段排水路トンネル呑口	土砂崩落により閉塞

③【補助ダム】

都道府県	水系	被害箇所	被害状況
宮城県	荒砥沢ダム	二迫川	大規模地すべり発生
宮城県	小田ダム	堤体	漏水量増加
宮城県	上大沢ダム	堤体	天端にクラック発生
秋田県	皆瀬ダム	堤体	天端の沈下及びクラック発生

◆【補助河川】

2 1箇所 岩手県 5箇所（河道閉塞等）
宮城県 1 6箇所（河道閉塞・斜面崩壊等）

◆【補助砂防等】

2 6箇所 岩手県 1 1箇所（崖崩れ等）
宮城県 1 5箇所（土石流・地すべり・崖崩れ等）

3. TEC-FORCEの派遣体制

	人数
本省	64
北海道開発局	4
東北地方整備局	97
関東地方整備局	40
北陸地方整備局	82
中部地方整備局	16
中国地方整備局	1
気象庁	45
国土運輸局	11
国土地理院	70
合計	430

▼TEC-FORCEとは

- ・ TEC-FORCE : 緊急災害対策派遣隊
Technical Emergency Control Forceの略
- ・ 平成20年5月創設
- ・ 大規模自然災害が発生し、又は発生するおそれがある場合において、被災地方公共団体等が行う、被災状況の迅速な把握、被害の発生及び拡大の防止、被災地の早期復旧その他災害応急対策に対する技術的な支援を円滑かつ迅速に実施することを目的とする。
- ・ 従来と異なり、事前に人員・資機材の派遣体制を整備することにより迅速な対応が可能。また、平時にシミュレーションや訓練を行い、スキルアップを図る。

4. 防災エキスパート

自治体の情報収集班 派遣メンバー(6/17～6/22)延べ34人。日

派遣自治体	収集場所	業務名	エキスパート名	6月17日	6月18日	6月19日	6月20日	6月21日	6月22日	
栗原市花山現場	災害対策本部	現場における情報収集(交替制) (要デジカメ)	菊地 良夫	17日12:00～19日22:00						
			奈良 一男	17日12:00～19日12:00						
			柳町 俊章	17日12:00～19日12:00						
			小松 直文			19日22:00 21日12:00				
			三浦 國昭			19日12:00 21日12:00				
			菅野 春雄			19日12:00 21日12:00				
			浪岡 亮			19日12:00 21日12:00				
			岩手県庁	災害対策本部	情報収集	櫻庭 邦浩	17日8:00 17日17:00			
井上 十三夫		18日8:00 18日17:00								
米沢谷 誠悦						20日8:00 20日17:00				
上森合 昭男								22日8:00 22日18:00		
臼井 隆三						19日8:00 19日17:00				
一関市役所	災害対策本部	情報収集				高橋 利典	17日8:00 17日17:00			
			佐藤 篤雄		18日8:00 18日17:00		20日8:00 20日17:00			
			薄井 幸治			19日8:00 19日17:00				
			米沢谷 誠悦				21日8:00 21日17:00			
			井上 博泰					22日8:00 22日18:00		
			奥州市役所	災害対策本部	情報収集	臼井 隆三	17日8:00 17日17:00			
遠藤 好美		18日8:00 18日17:00				21日8:00 21日17:00				
倉成 秀郎						19日8:00 19日17:00				
幸谷 孝文						20日8:00 20日17:00				
小笠原 哲								22日8:00 22日18:00		
国道112号	中山バイパス	コンクリート舗装				武田 哲衛	6月14日出動			
涌谷出張所	涌谷出張所	情報収集・点検	齋藤 宗夫	6月14日出動						

5. 岩手・宮城内陸地震合同調査委員会発足

岩手・宮城内陸地震合同調査委員会(土木学会東北支部・地盤工学会東北支部・日本地すべり学会東北支部、東北建設協会 約40名)が発足(7月2日)し、合同で調査報告書を作成し、防災技術の向上を図ることとしている。

災害写真



▲国道398号 宮城県栗原市



▲国道342号 岩手県一関市



▲荒砥沢ダム上流 宮城県栗原市



▲駒の湯温泉上流部 宮城県栗原市

災害対応技術指導員派遣制度について



度重なる災害を踏まえ、被災地域における被害拡大の防止・復興のために、被災した地方公共団体への適時・適切で効果的な応援・支援体制を充実させることを目的とした災害対応技術指導員派遣制度が平成18年に発足しました。

当制度の発足により、被災した地方公共団体の被害拡大の防止・早期復旧はもちろん、災害復旧における実務指導をとおして地方公共団体の災害対応時の技術力向上への期待が、年々、全国的に高まってきております。

そこで、現在、整備局と協議し、防災エキスパートの中から災害復旧経験者65名の登録を調整中です。

防災調査会発足

災害派遣調査・支援活動・講習会・研修等による技術力の向上を努めるために、平成19年12月に防災調査会が発足しました。第一回の会議については検討中です。

各地で大地震発生！



5月8日午前1時45分頃、茨城県沖で震度5弱(M6.7)の地震が発生し、東北地方でも強い揺れを感じ、最大で震度4を観測しました。

幸い、大きな被害はありませんでしたが、茨城県で震度5弱を観測したのは、2005年10月19日に茨城県沖で発生した地震(M6.3)以来で、まさに「災害は忘れた頃にやってくる」と思わざるを得ない突然の地震でした。

お隣の中国では、5月12日にマグニチュード7.8の四川大地震が発生し、多くの被害が出ました。上海では過去にマグニチュード5以上の地震が発生したことはなかったと言われていたにもかかわらず、突然の大地震発生です。これを対岸の火事とせず、常に防災の意識を高めていく必要があります。

6月12日には、宮城県沖地震(1978年マグニチュード7.4)から30年を迎え、当日の新聞で特集がくまれる等、防災対策が注目される社会情勢になっております。(宮城県各市町村では防災訓練が実施されました。)

30年以内に99%の確率で再発するといわれている宮城県沖地震。当時の悲劇を忘れることなく、防災訓練・重要箇所の点検等、積極的に活動していただけるよう宜しくお願い致します。

今年台風の当たり年？



6月3日、台風5号が日本に接近し雨を降らせました。幸い、この台風5号による被害はありませんでしたが、昨年同時期と比べると、2倍以上の台風が発生しています。(昨年は6月末までに2回)

日本は、比較的台風が発生する確率が高いと言われている国だけに、常日頃から台風情報には注意し、いざ出水等の水害が起こった際には迅速に対応できる体制作りが大切と考えられます。

事務局としても防災エキスパートの方々が迅速に対応しやすいよう尽力して参りますので、御協力宜しくお願い致します。

洪水対応演習が行われました。



5月13日、東北地方整備局管内で大規模出水等を想定した、洪水対応演習が行われました。

青森、高瀬川、岩手、北上川ダム統管、秋田、山形、新庄、酒田、福島等の各事務所で延べ27名の防災エキスパートの方々が参加し、職員の方と連携を図られました。

昨年度より、実出動員数が確実に増え、防災への意識が年々高まってきています。

岩手河川国道事務所管内で花巻農業高校生徒に水防工法の指導を行いました。



5月21日、約1週間後に迫った北上川上流水防演習に備えた、水防演習事前指導が行われました。(5月31日開催 北上川上流水防演習)

水防演習当日、積み土のう工を行うことになっていた、花巻農業高校の生徒を対象に技術指導が行われ、2名の防災エキスパートの方々が参加されました。

青森河川国道事務所管内で重要水防箇所合同巡視が行われました。



青森河川国道事務所管内で、整備局・地方自治体・水防団及び防災エキスパート重要水防箇所への共通認識を図るための合同巡視が行われました。

5月20日(藤崎出張所管内 岩木川)・22日(五所川原出張所管内 岩木川)・26日(八戸出張所管内 馬淵川)の3日間にわたって合同巡視が行われ、延べ29名の防災エキスパートの方々が参加されました。

福島河川国道事務所管内で道路防災点検指導が行われました。



5月30日、福島河川国道事務所管内で、当該事務所若手職員の技術向上を目的とした道路防災点検指導が実施されました。

山神橋、長老沢橋、葭沢橋等の橋梁を中心に、のり面等の点検指導が行われ、2名の防災エキスパートの方々が12名の若手職員の指導にあたりました。

岩手河川国道事務所管内で北上川上流水防演習(東北地方整備局主催)が行われました。



5月31日、「カスリン・アイオン台風」60年目の節目を迎え、当時の悲惨な記録を再認識し、その記憶を風化させないために北上川上流水防演習(総勢4000名参加)が行われました。

国土交通省ヘリによる状況把握や地元水防団等による水防工法の実施・東北各県代表水防団による東北水防技術競技大会等が行われ、19名の防災エキスパートの方々が参加されました。

この他、住民参加による体験水防の実施や、水防工法体験コーナーの設置等、普段は水防に馴染みの薄い住民の方々も参加できる催しも行われ、水防の重要性と災害に備えることの必要性を多くの方々が体験されました。(東北建設協会主催)

岩手河川国道事務所管内で水防工法指導・特定巡視が行われました。



● 6月1日、岩手河川国道事務所管内で、奥州市江刺区稲瀬地区の防災関係機関や地区住民を対象とした水防工法指導が行われました。

昨年9月の北上川増水の教訓を活かそうと、稲瀬振興会等の主催で行われた防災訓練の一環として活動が行われ、防災関係機関及び地区住民合わせて約300人が参加しました。

前日の北上川上流水防演習に引き続いての活動となりましたが、1名の防災エキスパートの方が参加されました。



● 6月4日、岩手河川国道事務所管内(盛岡出張所管内)で、特定巡視(専門)が行われました。

ボートを使用した河岸調査を目的として活動が行われ、1名の防災エキスパートの方が参加されました。

(平成20年度から東北地方防災エキスパートだよりは、ホームページでの提供になりました。)

編集後記

今年度より、防災調査部から地域事業部に組織変更し、防災エキスパート事務局を担当することになりました三浦と申します。ホームページでの提供に変更してリニューアルした「防災エキスパートだより」共々宜しくお願いいたします。又、防災エキスパート活動報告の際、写真・体験談等をいただければ幸いです。

現在、862名の防災エキスパートの方が登録し、平常時・災害時問わず活動をしていただいているところで、今回、新たに16名の方に登録の希望をいただき、今年度は878名で活動していくことになりました。

6/3、台風5号が日本に接近し、昨年の2倍以上の台風発生件数に達しました。(昨年は6月末までに2回)5/8には茨城県沖で震度5弱(M6.7)の大規模な地震が発生し、災害の当たり年になってきている感があります。確実に一人一人が昨年以上に防災への意識を高める必要が出てきています。

「防災エキスパートだより」を発刊するところ、6月14日岩手・宮城内陸地震が発生し、大災害に見舞われ、発刊が遅くなりまして申し訳ございません。東北地方整備局は、今なお非常体制中ではありますが、現在までの状況を報告させていただきます。事務局としても、これらの災害に迅速に対応出来る体制を整えていきたいと考えておりますので、皆さんの御協力、宜しくお願い致します。